

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない		
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]													
(1) 理念の明確化													
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	7	1			事業所年間計画として独自の理念が示されている。掲示されている。個別研修計画書にも記載されている。毎月のミーティング時にも確認をしている。	6				しっかりとされていると思います。法人理念のもと、サービスの特徴を踏まえた事業所独自の明確な理念が掲げられています。
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	5	3			日々の業務の報告、相談の中、事業所ミーティング、ヘルパー研修の中でも学ぶ機会がある。内容を認識できている。毎月のミーティング時にも確認をしている。	3	2			皆さんしっかりとされておられます。月1回のミーティング等を活用し、常に職員が理念を意識できる時間を設ける取組みは、とても良いと思います。ただ、理解度に関し、自己評価で「ほぼできている」との回答が一定数あり、このような評価としました。理念を実践するとはどういうことかを、常に考えて頂きたいと思います。利用者の事で話し合った内容の記録はありますか？
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	5	3			毎月センター内研修、ヘルパー研修で知識や技術の向上に努めている。専門技術は、記録を確認した時に、必要時指導をしている。研修の案内は、全員が確認するタブレット内のページに表示されている。日々の申し送りや、どのような対応をしているか確認できている。	2	3			法人内で研修が多くされており良いと思います。研修が幅広い内容で職員の育成に努められていると感じます。しっかりと研修されてます。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い ない	全 く でき て い ない		でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い ない	全 く でき て い ない	
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]													
(2) 適正な人材の育成													
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	4	4		職員の能力が発揮されるように配慮されている。時間に無理が無いように配慮しながら、配置している。訪問先に偏りが無いように、同じパターンの繰り返しではなく、誰もがどの訪問にも行けるよう配慮されている。全員が同じサービスを提供できるように指導があり、能力が発揮されている。手順書の確認等を行っている。	1	1		それぞれ経験値が異なる職員が同じサービスを提供できるようにするための指導は難しいと思いますが、能力の平均化は望ましいことと思います。 【質問】 経験値の異なる職員の知識や技能の差を埋めるために特に配慮している点等があれば教えてください。		
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	6	2		タブレットにて共有できている。訪問時に会った時や緊急時の電話連絡にて相談できている。訪問先のノートも活用し、利用者等の特性等の認識の共有の機会がある。コロナ禍もあり顔をつき合わせての会議が思うようにできない時期もあった。	3	3		なかなか顔を合わせて相談できていない事が残念です。タブレットだけでは正直、相互の認識確認や理解度までは把握が難しいと思います。やはり対面もしくは電話等での対話が必要かと思います。フェニックスネットや電話で共有できている。情報共有するためのツールが整備され、これらを活用して共有の機会が確保されていると思います。コロナ禍で難しいと思いますが、より相互理解を深めるために対面での会議等も行われると、より効果的かと思えます。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				でき ている	ほ ぼ でき ている	こ と が 多 い ない	全 く で き て い ない		でき ている	ほ ぼ でき ている	こ と が 多 い ない	全 く で き て い ない	
I 構造評価(Structure) [適切な事業運営]													
(2) 適正な人材の育成													
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	7	1		利用者の状況に合わせて、ヘルパーを固定せず業務作成している。 急な変更も受け入れ対応している。 利用者のニーズに合わせて援助できるようにシフト配置している。 サービスの提供に合わせた業務作成と、シフト変更を日々行っている。 体調変化があった時、デイサービスを休まれた時など随時訪問している。 利用者の特性や状況に合わせ、柔軟な業務が組まれている。	2			柔軟なサービス提供ができるようシフトを工夫する等により対応されています。		
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	2	5	1	介護・医療連携推進会議を適時開催しており、要望、助言等受け止め、適切にサービスが行われている。 介護・医療連携推進会議による意見をサービスに反映するように会議録を共有している。 地域に還元、交流等の点が出来ていない。	2	4		会議には適切に開催されていると思います。色々改善を試みられています。コロナ禍でなかなか地域と交流できていない所が残念です。 会議開催義務を果たし(書面を含む)、助言等を適切にサービスに反映する努力をされていると思います。 意見共有の場としてとても有効だと思う。 コロナ禍においても開催場所を工夫しながら対面による会議が開催されており、会議では事例紹介を通して地域の課題等について有意義な意見交換が行われています。得られた意見等から事業所の役割は何かを考え、前向きに取り組もうとする姿が見られます。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て 多 い	全 く でき て い ない	事業所コメント	外部コメント
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]													
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備													
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	7	1			フェニックスネットを活用し、タブレットを通じて関係者間ですぐに情報共有できている。 利用者の変化があった時は、タブレットだけに頼らず、利用者宅の連絡ノートや電話でも情報共有や相談をしている。	3	2			タブレットだけでなく電話での連絡等助かっています。 関係者間で迅速に情報共有できる体制が構築されています。また、ICT機器だけに頼らず、共有方法を適宜工夫しながら取り組んでいます。 ヘルパーさんの記録は、ご利用者の生活の様子がわかり参考になります。これからも多職種連携の一つのツールとしての活用を宜しく願います。
(5) 安全管理の徹底													
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	5	3			各マニュアルがあり、常に確認できる。 各マニュアルを作成し、担当者は適宜情報を発信、共有に努めている。 防災訓練を定期的に行っている。 緊急連絡網にて迅速に対応できている。 安全運転管理者より研修があり、具体的な運転についてのアドバイスがある。	3	2			防災訓練が定期的に行われておりいいと思います。 災害時に限らず、夜間業務の際の安全についても確実に取り組んで、職員の安全管理を行って頂きたいです。 対応マニュアルの作成・確認、研修等による安全確保対策が講じられています。全職員がマニュアルを確認したことがあるか、理解しているか等を把握する機会があるとよいと思います。 BCPの作成だけでなく実際に訓練も行われておりしっかり体制が構築されている。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	6	2			ヒヤリハットや事故の学びから、その都度対策をしている。 タブレットの管理、メモの仕方など具体的に指導がある。 紙ベースの個人情報を持ち歩かない。タブレット内の情報が漏洩しないように暗証番号で管理している。 書類等は鍵のかかる棚に保管している。	3	1			タブレット管理は大変な所もあるかと思いますが。その都度対策をされて工夫されています。 注意して取り組まれていると思います。 個人情報の保護について具体的な対策が講じられています。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				事業所コメント	実施状況				外部コメント
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成													
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	6	2		利用者又は家族から聞き取り、一日の暮らしを把握する中で、アセスメントを行い援助に反映している。生活全体の中で、どこに援助を要するのか着目し、提案できている。事前に生活リズムを理解し、今までのリズムをできるだけ崩さないように訪問時間や援助内容を考えている。難しい時は代替案を提示し出来るだけ利用者の希望に添うように検討している。	4	1		生活に着目できており、介入のポイントを考えられていると思います。利用者等の24時間の暮らし全体に着目し、生活リズムに合わせた支援や提案ができています。いつも生活パターンやリズムに注目して援助を組み立てておられると思います。ラジオを流している方がいらっしゃいますが、聞いておられるのか疑問です、どうしたら生活の楽しみを感じてもらえるのかを発信して頂き、多職種共同で考えていけたらいいと感じています。記録より利用者個々の生活をよく観察されていると感じます。個々に合わせて柔軟に対応されている		
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	6	2		タブレット上でお互い共有している。月に一回看護のアセスメントがあり、確認している。ヘルパーは、プランや本人の状態に変化があった時は行っている。	2	3		タブレットでの共有は助かっています。モニタリングの内容が直ぐに確認が出来き便利です。それぞれが互いにアセスメントを実施し、記録には残っていると思うが、タブレット上だけでの共有では不足がありそう。介護・看護の両面からアセスメントが行われ、タブレットを活用して共有されていますが、両者が直接話し合いながら共有、意見を交わせるような機会があると、支援の方向性をより共有しやすいのではないのでしょうか。		
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	3	5		介護計画書、モニタリングを通して心身機能の維持回復に反映する様にしている。利用者のできる事望んでいる事意欲を高める様に計画書を作成する様に努めている。	2			いつも助かっています。会議でも心掛けている様子が感じられます。関連サービスと情報共有しながら計画作成して下さい。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				でき ている	ほ ぼ でき て いる	こ と が 多 い	全 く で き て い ない	でき ている	ほ ぼ でき て いる	こ と が 多 い	全 く で き て い ない	事業所コメント	外部コメント
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成													
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	1	7			残存機能を使い、医療依存度を高めないように計画の作成をしている。ケアマネが家族などに相談した意向に合わせて、ヘルパーで支援できる範囲での計画を作成している。ターミナルの時期において医療依存度を高めすぎないように家族のニーズを反映している。変化を見極め、早めに看護やケアマネに相談し、在宅生活が継続できるよう計画提案している。褥瘡予防など計画作成されていて、ポジショニング行っている。	1	4			ターミナル期にどこに相談していくか考え、すり合わせていく事が大切かと思います。職員の方の意識の高さが伺えます。利用者の在宅生活が継続できるよう、介護、看護、ケアマネが連携しながら、利用者の変化を見極めプランに反映しています。また、医療依存度が高くないよう予防の観点も取り入れています。状態変化に応じて対応して頂ければと思います。関連サービスと情報共有しながら計画作成して下さい。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し													
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	5	3			キャンセル、追加、日時の変更など可能な限り対応している。定期随時のテレビ電話で24時間対応する仕組みがある。コールや利用者の状況に合わせ、随時対応行った。急なデイサービスやショートステイの変更でも対応できている。その他にもテレビ電話を活用し対応している。	2				状況変化に柔軟に対応しています。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	6	2			月末に1ヶ月のモニタリングを行い、利用者の状況を把握できるようにし、ケアマネへの提案も行っている。利用者の食事に時間を要することとなれば、計画に反映してもらい丁寧なケアができていた。	2				継続的なモニタリングで状況変化を的確に捉え、プランに反映しています。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき て い ない	全 く でき て い ない	
事業所コメント				外部コメント								
II 過程評価(Process)												
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供												
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供												
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	5	3			介護職は日常的な身体・日常生活の援助を行い、医療面では看護職が全身状態の把握と処置等役割分担ができています。介護では判断できない所は看護に連絡をし指示を受け対応している。	3	2		分担して下さり助かっています。お互いの専門性を活かし、情報交換しながら役割分担できていると思います。介護職の方々の利用者の日常生活の小さい変化への気づきは看護でも大変参考になります。情報共有でき上手く連携が取れていると思う。介護と看護それぞれの専門性を活かした役割分担ができており、連携もとれています。 【質問】 「できている」とした方と「ほぼできている」とした方の違いは何でしょうか。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	7	1			共に訪問時に直接又はタブレット内又は電話にて指導、助言を頂いている。	5			いつも助かっています。指導・助言が適宜行われています。今後も適時適切に助言・連携ができるように努力して参ります。気になる事はいつでも連絡ください。
10												
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	4	4			契約時にサービス責任者から説明し同意を得ている。サービス開始時は納得されたが、段々と訪問の意図がずれて来ることもありその都度説明を行っている。	1	1		本サービスを初めて利用する方にとって、サービスの趣旨や特徴を契約時に十分に説明したとしても、一度で理解することは難しいと思います(利用イメージが難しい)。本サービスの基本方針について、繰り返し説明していくことも必要だと思います。 【質問】 「訪問の意図がずれてくる」とは、例えばどのようなことでしょうか。また、ずれてくる理由は何でしょうか。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
事業所コメント				外部コメント									
II 過程評価(Process)													
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供													
(4) 利用者等との情報及び意識の共有													
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	4	4			利用者、家族に説明して理解を得てサインをいただいている。日々の援助の中でも利用者家族に伝え理解に努めている。	1	2			プラン作成・変更時だけでなく、日々の援助の中でも目標や計画の共有を意識し努力されています。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	7	1			利用者ごとに連絡方法は異なるが、状況の変化やサービス変更の必要性があれば、看護、ケアマネジャー、家族に連絡入れ相談している。	2				利用者・家族と支援関係者の連携がとれており、適時・適切な報告・相談が行われています。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント													
(1) 共同ケアマネジメントの実践													
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	6	2			情報はタブレット上にて共有されている。サービス提供などに変更が必要な時は、担当者会議など行い相談し決める。	1				情報が共有され連携がとれており、サービス変更等も共同で決められています。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	3	5			モニタリングや担当者会議にて提案は伝えている。ケアマネに提案を行うがケアマネによって対応が違い、その都度連絡を入れる様になっている。	1	1			ケアマネへの積極的な提案が行われています。 【質問】 ケアマネによって対応が違ふとありますが、具体的にはどのような違いがあるのでしょうか。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				でき ている	ほ ぼ でき て いる	でき て い ない	全 く でき て い ない	でき ている	ほ ぼ でき て いる	でき て い ない	全 く でき て い ない	
事業所コメント								外部コメント				
II 過程評価(Process)												
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント												
(1) 共同ケアマネジメントの実践												
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	5	3			担当者会議、照会、モニタリングにて、利用者の状況について多職種へ伝える。毎月のモニタリングで共有を行っている。	3	2		細かくモニタリングをされており助かっています。定期巡回・随時対応サービス事業者は、日頃のケアを通し利用者のきめ細かな生活状況等を把握できるため、この情報を積極的に多職種と共有し、適宜プランに反映してください。モニタリングの共有はできています。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献												
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	1	2	1		保険外サービスの依頼を訴えられた際にはケアマネジャーには伝えている。	1	1		利用者の生活を包括的にサポートするために、地域内の様々な社会資源との連携が不可欠です。包括的な支援の観点で事業者からケアマネへの提案は適宜行われていますが、多職種で連携して必要な支援につなげられるよう努めてください。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	3	2			依頼のある時は、退院はカンファレンスには参加し、入院中の状況を把握し、サービスが出来るよう情報の共有が担当者会議にて行われている。急な退院や依頼時には出来るだけ対応出来るように努めている。	2	3		コロナ禍で退院前カンファレンスに参加できる人数が制限され残念です。多職種で情報を共有しながら、切れ目のないサービス提供に努めています。ヘルパーさんが情報を入れて下さっていると思いますが、退院等のケースはあまりなかったように思います。調整され柔軟な対応をしている

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価				
				実施状況				実施状況				
				でき ている	ほ ぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全 く でき てい ない	でき ている	ほ ぼ でき ている	でき てい ない こと が多 い	全 く でき てい ない	事業所コメント
II 過程評価 (Process)												
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的管理												
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的管理への貢献												
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている (※任意評価項目)	1	1	1		介護、看護、リハビリなどの職種によるサポート体制は共有できているが、検討されているケースはあまりない。	1	1		包括的な支援に向け多職種で協力しながら、必要な支援につながるよう努めてください。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画												
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案												
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	7	1			センター入り口に置いてある。 分かりやすい様に工夫する必要がある。	4	1		資料はとても分かり易いです。 会議録は誰でも見ることができるよう、事業所内に置かれています。年間でどの程度の閲覧実績があるかわかりませんが、実績によってはより効果的な情報発信の方法を検討することも必要かもしれません。 【質問】 「分かりやすい様に工夫」とありますが、何が分かりにくいのか教えてください。(場所？、内容？)
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	2	4	2		広報活動は地域の活動には参加している。積極的な広報活動にまでは難しいこともあるが、日々丁寧なケアを行いサービスを知ってもらうよう努力している。 センター入口ポーチの掲示物の設置などの検討中	1	4		なかなかわかりにくい位置にあり一瞬入ってからどこに声をかけていいか迷う事があります。 具体的にどのような地域の活動に参加されているのか教えていただくと参考になります。 地域の活動に参加する機会を活用しながら、地域の方にサービスについて知ってもらえるような取り組みができると思います。 コロナ禍ではありますが、掲示以外でのアプローチができればと思います。 積極的な広報活動は事業所のアピールになると思う。 実際の広報活動により相談を受けたりサービス利用に繋がった事はありますか？

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない ことが多い	全くできていない	事業所コメント	外部コメント
II 過程評価 (Process)													
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画													
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画													
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	3	3	2		研修にて詳しい説明があり理解している。市のホームページを確認している。研修等あるが十分な理解までは行かない。	1	1			昨年の自己評価と比べると「できている」とした方が増えています。研修等で計画の説明をしたり、積極的に理解しようとされています。十分な理解まで行かなくとも、まずは日頃から意識していくことが大事だと思います。
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	5	3			エリアを指定しているが、近隣の定期随時事業所と連携しエリア外でも可能なところへは訪問している。	2				法人内の事業所と連携しながら、担当エリア外でも積極的にサービス展開していく姿勢が見られます。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている (※任意評価項目)	2	2	1		ご利用者で生活援助を多く望まれている方、自事業所が訪問出来ない、対応できない時は保険外サービスを紹介した。施設でなくても施設と近い形で自宅で過ごせる事、自宅での看取りができる事を伝え、訪問看護との連携なども地域の方にも知って頂けるように努めたい。地域の方の声を聞く機会がなかったが、ご利用者、ご家族はその地域の方なので、不安、疑問に思っている事など、解消できるようにしていきたい。	1	1			今後、地域に向けて、介護看護の観点から積極的に問題定義が具体的に改善案などを提案してきてください。地域密着の事業所として。介護・医療連携推進会議の事例紹介等を通し、在宅での看取り、人生の最期をどこで迎えるかに関し活発な意見が交わされ、地域における課題やどのような関わりが必要か等について関係者間で共有したり、認識することができたと思います。日頃から地域課題を意識しながら業務にあたられ、当該会議の場等を活用し課題提起・共有するとともに、常に事業所の役割を考えながら業務及び地域に向き合われています。地域の中でお話を伺うと、元気なうちは自宅で看取られたいという気持ちをお持ちの方がいる。介護が必要な状態になると、家族に迷惑を掛けたくないという気持ちや自分自身の体力がなくなってくるからと言う理由で、ケアマネさんの紹介依頼のお話を頂く事がある。人は必要になると対応しようとするので、その際に適切な連絡先が分かる状態を作る事が大切だと思いながら伺っていた。やるべき事やサポートして頂ける状況が見えてくると、安心して前向きに考えられるようになると思う。その時にアクセスを上手にできる状況を作っていく方法を私自身も含めて考えていこうと思った。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	事業所評価				外部評価					
				実施状況				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていない	全くできていない	できている	ほぼできている	できていない	全くできていない		
事業所コメント				外部コメント									
Ⅲ 結果評価 (Outcome)													
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	4	4			計画書を作成し目標についてはモニタリングを月1回行い、達成状況を確認し課題点については見直しやアセスメントし計画修正に繋げてる。	3	2			アセスメントされていると思います。毎月の評価は大変だと思いますが頑張ってください。どのような介入でどのような変化があったかなど、また会議で教えてください。これからは専門的なサービス提供や多職種連携により、利用者の「在宅生活の継続」及び「心身の機能の維持回復」を目指した支援をお願いします。アセスメントの質の向上を図ることで、ご利用者が尊厳を維持し、前向きに生きていけるようサポートできたらよいと思います。利用者が目標を達成すると職員さんのやりがいや励みになると思います。
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	6	2			ご本人、ご家族より安心して生活が出来ること、良かったという感謝と喜びの言葉を頂くことが多くあった。定期随時の他に随時訪問している為、不安時、緊急時は連絡をもらうよう伝え、安心して頂くことができた。今までケースのお話を聴かせて頂き、とても丁寧に対応して頂ける事が分かり、ご家族は安心だったのだろうなと思いました。	3	1			アンケート調査は行っていますか？皆様のおかげで心落ち着いて笑顔が多くなりました。自宅へ戻った際に「皆にお土産」と可愛いろうそくを持ち帰り「いつもお世話になっているから」と渡すまでになりました。本人より「ここがいい」と話がありました。安心感は得られています。個々に合わせたサービスをされているので利用者の方は安心して生活する事が出来ていると思う。同じ顔の人が訪問して下さる事はまたいつでも連絡できる事は安心に繋がっていると思います。

※外部評価 実地状況の数字は回答があった数字を入力しました。